

(令和 6) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (07 京都市吉田) 児 童 館

		活動名	実施回数	参加人数											内 容	成 果 と 課 題
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア			合計		
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
子ども基本生活	基 本 活	(2)遊びの教室活動 工作	14	3	13	262	13	58	2	2	0	0	353	隔月で5日間、廃材も取り入れ、季節の工作や作ってあそべる内容のものを企画した。(プラバン、ペットボトル風鈴、的当てシューター、ハロウィンリース、ミニクリスマスツリー、牛乳パックでびっくり箱) 作り方の説明書を作り、各自でも考えながら取り組めるようにした。	5日間実施することにより、途中で終わることなく最後まで仕上げることができていた。また、作るだけでなく、作った物であそんだり飾ったりできるような内容を工夫した。 低学年と高学年が同じ物を作ったことで、高学年が低学年に作り方を教えてあげる姿や、高学年に限らず先に完成させた低学年も教えてあげる姿が見られた。おやつ時間に重なると、ホールを使用するクラスがあるため、場所が限られ自由来館の参加者が少ないと問題はないが、多くなった場合の場所や実施時間の検討が必要だ。	
		チャレンジ	18		6	311	3	81	2				403	隔月で5日間、身体をつかうあそびを中心に、伝統あそびにもチャレンジした。(ギネス世界記録、けんだま、マンカラ、卓球、ブラインドスクエア、ギネス世界記録)	ギネス、けん玉、マンカラ、ブラインドスクエアは何度も記録に挑戦する姿や、身体を動かしながら取り組むとともに新たなこども同士の関係作りができていた。卓球は、初めての参加者がチャレンジをきっかけに楽しさを実感し、卓球大会の参加につなげることができた。上級生が下級生を教えたり、お互い協力して取り組む等、縦のつながりが見られた。	
		(3)行事活動 じどうかんフェスこども 実行委員会	5		4	15	7	18					44	じどうかんフェスに向けて、こども実行委員を募り、フェスに向けてコーナー準備や当日の司会を行った。また、京都芸術大学や、地域の読み聞かせ団体に依頼し、特別ステージを設けた。	フェスに向けてこどもたちが主体的になり、コーナー展開のお手伝いや司会などを行ってくれた。当日までに何度も話し合いを行い、終了後も振り返りをこどもも中心となり行うことができた。地域の団体にステージを依頼したことにより、特別な体験になったとともに地域とのつながりの良いきっかけとなった。	
		缶バッジ絵柄作成	5		1	30	2	6	0	0	0	0	39	じどうかんフェスにて実施の缶バッジコーナー混雑緩和のために、事前に丸く切った紙に、自由に絵を書いてもらった。フェスの当日までに作成しておき、当日又は後日とりに来てもらう。	フェスに向けて事前に作成しておくことにより、地域の来館者のスペース確保や、当日のコーナーの混雑緩和に大きな効果があり、作成した児童には当日の楽しみのひとつとなった。	
		じどうかんフェスに向けての取り組み	15	3	5	382	12	111		8			521	帰りの会の時間で、有志の保護者やこども達によるオープニングの手話歌やけん玉の練習をおこなった。	選曲はアンケートにて募り、曜日をかぶらないように実施することで、オープニングに出る児童がなるべく全員練習できるようにした。保護者にも参加してもらうことによって親子での練習する時間や、職員とのかかわりの時間も増えた。	
		おたのしみ卓球大会	1		12	2	4	1	0	0	0	0	19	卓球に親しみ、日頃の練習の成果が発揮できるよう実施した。試合だけでなく、各自で何回球をつけるかをカウントすることにより試合の勝敗だけでなく、全学年が楽しんで参加できるよう内容を工夫した。	卓球大会前に練習する機会を設けたこともあり、卓球クラブに登録していないこどもも楽しみながら参加できていた。1～2年生の部と3年生以上の部に分け総当たり戦を行い、真剣に取り組んでいた。試合の後に玉突きの数回を競うことを行ったことによって、試合には勝てなかった人も、違う形で楽しむことができていた。	
		クリスマス会実行委員会	6		4	14	6	34					58	クリスマス会に向けて、司会者やゲーム係、プレゼント係などを募り、こどもたちが主体的に取り組んだ。きりえクラブのこども達も協力し、クリスマスの絵柄のガーランドや切り紙で飾りを作成する。	職員が内容を決めるのではなく、こどもたちが相談し合いながら考えることができた。実行委員の動き出しが遅かったのと、人数の兼ね合いで複数の係を兼任しているこどもが多く、時間があまりとれない係があった。実行委員を11月から動き出すことと、職員同士で各々の係の話し合いの時間をしっかり共有しておく必要があった。	
		クリスマス会	1		5	36	7	9					0	57	クリスマス会実行委員会を中心にゲームやこどもの出し物を行った。	実行委員のこどもが中心となって司会やゲームを行うことができた。班対抗と、そうでないゲームを取り入れ、どちらのゲームにも自由来館の児童も一緒に楽しみ、異年齢の関りを密に行うことができた。昨年の反省点を活かし、ゲームの時間配分も予定通りスムーズに行うことができた。

も 育 成 機 能	動	大そうじ	1		2	35		11	0	0	0	0	0	48	年末に来館児童で児童館をきれいにした。今年度より、「修理BOX」を用意し、おもちゃの修理と整理も同時に行った。	役割分担をしながら積極的に取り組んでいた。こども達同士でおもちゃが「直せるものか、直せない物か」相談しながら進め、整理することができた。	
		たこあげ大会	1	4	19	4	6	1		15	0	0	0	49	午前中にたこ作りを行い、午後から鴨川河川敷でたこあげを行った。	風はあまり吹いていなかったが、天候がよく、初めてのたこあげすることも、元気に走り回っていた。妹弟連れの幼児さんにも小さい風で楽しんでもらえた。参加者が多く、午前の風作りは机の台数がホールいっぱいになり、午後のたこあげは場所を占領して他の方の迷惑になっていた可能性がある。来年度は①定員をもうける②学年ごとに時間を分ける③小学校のグラウンドを借りる等の対策が必要だ。	
		避難訓練	11		6	354	5	112	1				0	0	478	毎月行い、火災・地震発生時における避難経路や避難方法を確認する。7月には水害・9月には土砂の講話を行う。また、8月には左京消防署員に来てもらい、指導してもらう。	継続して実施することにより、防災意識の向上につながっている。
		交流ドッジボール	1		2	7	3	5	0	0	0	0	0	17	錦林児童館と、ドッジボール交流試合を行った。	他館と交流することが少ない中で、ドッジボール交流試合を行えたことはこどもたちにとってとてもプラスになった。当日までにたくさん練習を重ね、勝ち負けだけに拘らず、ドッジボールを通して人間関係が形成できていた。	
		なんでもクラブ	11				63	14		0	0	0	0	77	4～6年生の児童を対象としたクラブ。感染症対策のため避けていたクッキングを5年ぶりに実施。その他、館外活動や工作など行う。	自分たちで工作・館外活動の内容を考え、楽しみながら取り組んだ。毎月、7～8名の参加があり、年度途中からは申し込み人数が定員の10名とになった。振り返りではほとんどの活動が「楽しかった。」との意見をもらった。	
		きりえクラブ	26		8	194	19	112		1				5	339	前年度の参加人数の少なさから、土曜日のみ実施していたのを奇数月（5.7.9.11.1.3月）の2週目、月～金に実施。小学生から大人を対象としたきりえに取り組む。	実施日を、土曜日から平日に変えたことで参加しやすくなり、登録者が増えた。級別に分けたことにより、自分に合ったレベルで進められ、上達も早かった。人数が増えた為、来年度からは学年で分けて実施する必要がある。
		卓球クラブ	41		79	37	65	37	5	1					224	毎週土曜日に、小学生・中学生と時間帯を分け実施。初心者にはラケットの持ち方から練習し、ラリーができるこどもたちは、自分たちでゲームをして楽しむ。	小学生の活動時間を1時間で区切ることによって集中して楽しむことができた。中学生のクラブがある日は、中学生の参加がみられ、中学生のスピード感のあるラリーに興味を示す小学生の姿も見られた。
		(5) 地域間交流促進活動 吉田区民夏まつりリハーサル	15		45	341	28	106							520	帰りの会の時間で、こどもたちによる手話歌やけん玉の練習をおこなった。	選曲はアンケートにて募り、曜日をかぶらないように実施することで、オープニングに出る児童がなるべく全員練習できるようにした。当日は場所の確認や移動の確認も行った。
		吉田区民夏まつり振り返り	2			39	1	9							49	ステージにでたこどもたちに振り返りのアンケートを書いてもらった。	
	(7) 思春期児童の活動支援 中高生GUクラブ	24							59				0	59	毎月2回、中高生の自主的な活動を援助する。	土曜と平日に1日ずつ実施することによって、数名参加者が増えた。平均2～5名の参加で、自分たちできめた取り組みをする。次年度からは、中学校に掲示ができる広報物を作成し、利用者への周知を促す試みだ。	
	合 計	198	10	211	2063	244	725	69	27	0	0	5	3354				
	推 進 活 動	(10) 地域を知る活動 防犯・交通安全教室	2		3	88	1	30					4	126	不審者の対応について、川端警察署の交通課と生活安全課の警察官に来ていただき指導を受けた。こども向けはDVD視聴、職員向けは実際にさすまたを使って訓練を行った。	こども向けのDVDは1年生にもわかりやすく、勉強もでき、笑い声が飛び交うような面白い内容で最後まで集中することができていた。不審者対策では、外あそびの際等、入口に鍵をつける等の対策が必要との指導を受け施設方法の検討を行う。	
		合 計	2	0	3	88	1	30	0	0	0	0	4	126			
子ども育成機能 合 計		200	10	214	2151	245	755	69	27	0	0	9	3480				

＊注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和 6) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(07 京都市吉田) 児 童 館

		活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容		成 果 と 課 題		
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア							合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人					
子 育 て 家 庭 支 援 活 動	基 本 活 動	※ (1)乳幼児とその保護 者を対象とする活動 ①乳幼児のクラブ活動 はとぼっばクラブ	37	75	1					70				146	毎週火曜日に1歳半以上の乳幼児とその保護者を対象とした クラブ。歌・手あそび、絵本、体操、工作やあそびなど様々 な取り組みを通じて、親子のふれあいや、こども同士・保護 者同士の友だち作り・仲間作りを支援する。	4月のクラブ開始時は、7組の参加があり、こども同士 だけでなく保護者同士の交流も行うことができ、人間 関係が広がった。引越しや保育園への入園などで8月 頃から1～2組に減少したが、活動内容の変更や、3月 号からのおたより配布場所を増やし、広報範囲を広げ ることで来年度からの参加者の増加を試みる。		
		②乳幼児のクラブ活動 びよびよクラブ	40	99						99				198	毎週水曜日に1歳半までの乳幼児とその保護者を対象とした クラブ。ふれあいあそび・絵本・カレンダー作り・季節の工 作など様々な取り組みを通じて、親子のふれあいや、こども 同士・保護者同士の友だち作り・仲間作りを支援する。	平均4.5組の参加があり、工作や保護者同士の交流を 楽しみに参加される方が多かった。引き続き、保護者の のリフレッシュや情報交換が進むような取組を行って いく。		
		③乳幼児のクラブ活動 なかよしだクラブ	29	49						48				97	第2を除いた毎週金曜日に乳幼児の保護者を対象とした保護 者向け工作やエクササイズ、子育て講座などを行う。また、 クラブを通じて、こども同士・保護者同士の交流・仲間づく りを支援する。	保護者のリフレッシュや交流に重きを置いて取り組ん だ。講師を招いた子育て講座に人気があり、多くの参 加者が見られた。クリスマスやひな祭りのガーランド は、「普段、家ではつくれないので、ありがたい」と の声があった。		
		子育て講座 「おやこでリズムあそ び」	11	50						52				102	毎月第2金曜日にリトミックの先生に来ていただき、乳幼児 親子を対象とした音楽あそびを行う。	予約制とし、毎月1日に受付開始し、15名の定員で実 施していたが、当日の飛び込み参加も多かった。毎回 楽しみに参加してくれる親子が多く楽しく参加されて いた。次年度からは人数制限を設けず、人数把握のた めの申込制にする。		
		(2)家族参加を促す活動 乳幼児さん あそびにおいでよ！	4	46	5	4	1	1		31				88	乳幼児クラブが行われない夏休み期間中に乳幼児親子を対象 としたイベントを開催する。おはなしひろば、ミニおまつり ごっこ、大型遊具であそぼう。ソルトペインティングと内容 を変え、家族での参加を呼びかけた。	夏休み期間中に行うことにより、以前乳幼児クラブに 登録されていた親子や、学童利用者の兄弟児等、普段 来館していない親子の参加もあった。また、小学生と の交流も行うことができた。		
	合 計		121	319	6	4	1		0	300			0	631				
		(3)子育て家庭相談・援助 活動	子どもの年齢	件数		受 理 及 び 相 談 経 路				件数		相 談 内 容		件数	つないだ機関等	件数		
			乳児 幼児 小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童） 小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童） 中学生 高校生			児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }						健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }			児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }			
			件数 計	0		－						－		0	－			
		(4)子育てグループを育成 ・支援する活動	グループ名	構成人数		活 動 内 容						育成・支援内容		成果と課題				
推 進 活 動		(5)子育てと健全育成に関 する啓発活動	活動名	実施回数		活 動 内 容						成 果 と 課 題						
	「京都市家庭ごみ有料指定 袋無料引換券」の引換		19		京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券を持って、引き換えに來られた保護者に児童館 ニュース等を配付し、児童館の利用促進につなげる。						児童館の利用促進というよりは、常の利用者が身近なところでごみ袋がもらえる 場となっている。							

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(令和 6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(07 京都市吉田) 児 童 館

<様式10-4>

地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	(4) 児童館を支える 地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題			
			吉田みまもり隊		自治連合会・各種団体等		自治連合会		日常の組織活動の中で、こどもたちへの目配りを行う。		職員もみまもり隊に加入し、地域のこどもたちの安全に目を配る。			
	推 進 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使 用 目 的		提供先（団体・機関等）			成果と課題				
			育成室		役員会・各実行委員会等会議		学童クラブ保護者会			来年度の保護者会存続のための会議を行う。				
			遊戯室		保護者会主催クリスマス会		学童クラブ保護者会			在籍しているこどもの保護者に向けて、親睦を深めるとともに保護者会を知ってもらききっかけづくりとなった。				
			遊戯室		すくすくサロン		吉田社会福祉協議会			各団体の皆さんに来てもらい、交流をもつことで良好な関係を築くことができている。				
		(6) 地域調査活動	調査名		調査目的		調査対象		調査主体		調査方法		成果と課題	
			児童館利用者アンケート		①利用者ニーズの把握 ②開かれた児童館づくりを実践できる職員の育成。 ③市社協が運営する児童館であることの周知。 ④アンケート結果を受けての事業の改善、充実。		児童館利用の小学生 児童館利用の中高生 児童館利用の保護者		京都市社会福祉協議会		・小学生、中学生、乳幼児保護者にその場で記入してもらい回収した。		ほとんどの子どもたちが友だちと楽しくあそべて楽しいという意見が多く得られた。しかし、学童人数の増加で、ゆっくりできないという意見も多く、環境整備や遊び方の工夫が必要である。昨年度、Webでの回答となり、その場で行わないためか回答数が減少した為、乳幼児保護者はその場で記入してもらった。メッセージでの回答依頼の呼びかけもあり、半数を超える回答があった。中高生は回収期間中の来館が無かった為、回収できなかった。	
	乳幼児クラブアンケート		次年度の運営参考		各乳幼児クラブ参加者		児童館		・クラブ終了時に記入・回収		はとぼっぼクラブ、びよびよクラブ、なかよしだクラブと分けていた用紙を乳幼児クラブアンケートとして統一する。乳幼児クラブに登録されている保護者から感想・要望を聞くことができた。			

(令和 6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(07 京都市吉田) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館の利用案内	随時	利用者	来館受付に常備し、来館者に配付	児童館の案内	初めて来館する方やボランティアの方などへの説明用に活用できた。
	児童館ニュース	月1回	地域住民	地域委員を通じての回覧および館前の掲示板上に掲示	児童館の案内・月の行事のお知らせ	町内回覧および小学校の児童全員に配付することにより、多くの方に児童館ニュースが見てもらえている。乳幼児クラブの利用者増加の為、3月号から新たに「吉田幼稚園、京都精華高校、ライフ川端一条店、柴田クリニック」にも設置を依頼する。
			第四錦林小学校全世帯	小学校を通じて全世帯に配付		
			児童館利用者	児童館入口にて設置		
			養正保育所	各施設に設置してもらう		
			朱い実保育園・風の子保育園			
			ベスタロッヂ保育園			
			あおぞら保育園			
			左京子どもはぐくみ室			
			左京保健福祉センター			
			吉田幼稚園			
			京都精華高校			
			ライフ川端一条店			
			柴田クリニック			
			民生児童委員	直接配付		
			京都ファミリーハウス	民生児童委員を通じて配付		
			乳幼児保護者			
	はとぼっぼクラブだより	月1回	はとぼっぼクラブの保護者	クラブ内全員配付	行事のお知らせ・歌、手あそびの紹介	各クラブの予定や連絡に活用できた。
	びよびよクラブだより	月1回	びよびよクラブの保護者	クラブ内全員配付		
	はとぼっぼクラブ案内	随時	はとぼっぼクラブ登録希望者	直接配付	はとぼっぼクラブの案内説明	登録を希望する方に渡し、説明を行うことができた。
	びよびよクラブ案内	随時	びよびよクラブ登録希望者	直接配付	びよびよクラブの案内説明	登録を希望する方に渡し、説明を行うことができた。
	なかよしだクラブ案内	随時	なかよしだクラブ登録希望者	直接配付	なかよしだクラブの案内説明	登録を希望する方に渡し、説明を行うことができた。
	なんでもクラブ案内	随時	なんでもクラブ登録希望者	登録希望者に直接配付	クラブの内容説明	登録希望者と保護者に内容を知ってもらうことができた。
	中高生GUクラブ案内	1回	近衛中学校全生徒	中学校内に掲示	クラブの内容説明	昨年度の卒業生が5～6名程参加があったが、今後の継続と、拡大を含め年間を通じて掲示のできる広告を作成し、近衛中学に掲示の協力をお願いする。
	卓球クラブ案内	随時	登録希望者	児童館内に掲示	行事案内	行事の案内を通じて、児童館の活動を知ってもらうことができた。
	きりえクラブ案内	随時	登録希望者	児童館内に掲示		
	よしだじどうかんフェス	1回	地域住民	児童館内に掲示		
	乳幼児さん、あそびにおいでよ	1回	地域住民	児童館前に掲示		
			乳幼児保護者	来館者に告知・配付		